

【 パソコンのおさらい：今さら聞けないパソコンの基本 】

「Shift(シフト)」キーの役割、使い方

パソコンのキーボードを使用する上で、[Shift キー]を押しながら他のキーを押す、というシーンはたびたび登場します。

キーボードは、1つのキーに対して複数の文字が割り当てられています。

例えば、半角英数入力の場合、「Aち」のキーに割り当てられているのは、小文字の「a」と大文字の「A」です。でも押すのは同じキーです。どうやって入力される文字を切り替えるの？ そこで登場するのが「Shift キー」です。

例えば、半角英数入力の場合、「Shift キー」を押さないで「Aち」のキーを押すと小文字の「a」が入力され、「Shift キー」を押しながら入力すると大文字の「A」が入力されます。

また、キーボードで数字や記号などが上下に印字されたキーを押すと、下の数字や記号が入力され、「Shift キー」を押しながらでは上の記号が入力されます。



例えば「Shift キー」を押しながら「1ぬ」キーを押すと「!」、「Shift キー」を押しながら「3あ」キーを押すと「#」が入力できます。

「Shift キー」の役割を一言でいうと、入力される文字が切り替わるキーです。

この他にも「Shift」キーは、「ショートカットキー」に利用したり、「Ctrl(コントロール)」や「Alt(オルト)」などの特殊キーと一緒に 3 つ以上のキーの組み合わせで使われるなど、便利な使い方があります。

「押しながら～」という操作が煩わしいという方のために、『固定キー』という機能があります。

「固定キー機能」は、[Shift]キーや[Ctrl]キー、[Alt]キーを押しながら使用しなくても、一度キーを押すと押しっぱなしの状態となり、1本の指で操作できるようになります。

「固定キー機能」を有効にするには、[Shift]キーを 5 回押すと固定キーを有効にするための確認メッセージが表示されるので、[はい] を選択します。

< ちょっとした「Shift キー」の便利技 >

(1) 半角の空白を入れる場合

日本語入力が ON の時、普通に【Space】キーを押せば、全角の空白が文章に入力されます。半角の空白を入力するには、一度日本語入力を OFF にしていませんか。たいした手間では無いのですが、これもなんだか非効率です。

そこで【Shift】キーを押しながら【Space】キーを押してみてください。これだけで簡単に半角の空白が入力されます。

(2) まっすぐな罫線をひく方法

Word の図形で線を真っ直ぐに引きたい場合、うまく真っ直ぐに引けない時があります。Shift キーを押しながらドラッグすると真っ直ぐな直線になります。

(3) Windows 10 が不調になった時の最終手段は「Shift」キー＋再起動。

Windows が不調なときに役立つのが「回復」機能。例えばあるアプリやドライバをインストールしてから調子が悪いという時は、「セーフモード」で起動してアンインストール、もしくはインストール前の復元ポイントを使って巻き戻すことで直ることがほとんどです。このセーフモードでの起動や復元を使うときに利用するのが、「PC の起動をカスタマイズする」という機能です。

この機能は「回復」から「今すぐ再起動する」ボタンをクリックすると利用でき、Windows が起動する前に「オプションの選択」を表示してくれるもの。ここから「デバイスの使用」で Windows をリカバリできますし、「トラブルシューティング」を選べば、復元ポイントの利用、セーフモードでの起動などが可能です。

ほとんどの場合はこれで片が付くのですが、Windows の起動すらおぼつかず、ようやく起動してもタスクバーが表示されないとか、「設定」を開いても真っ白で何も無いというほど深刻化している場合は、どうしようもありません。

こういった状況でも「PC の起動をカスタマイズする」と同じく、「オプションの選択」画面を表示できるようにする方法を紹介しましょう。

やり方は非常に簡単。スタートボタンをクリックして「電源」を開き、Shift キーを押しながら「再起動」をクリックするだけです。「設定」を開く必要がないため、スタートボタンさえクリックできれば何とかなる、というのが心強いです。

Shift キーを押しながら再起動を選ぶと「PC の起動をカスタマイズする」と同じ効果があります。